

NPO 法人民間稲作研究所・グリーンオイルプロジェクト 公開シンポのご案内

2017年通常国会で主要農作物種子法の廃止が可決成立してしまいました。現場からの要求も農水省からの要望もなく、内閣府の規制改革委員会農業WGからの提案で閣議決定され、新たな法案もなく、日本の種子の開発・普及を任務とした法律が廃止されてしまいました。世界の種子独占を目論む多国籍化学農薬企業に日本の種子生産システムを売り渡すための「露払い」という事件です。今回の公開シンポは、特別企画として、種子法廃止の真相を明らかにしながら、日本の種子を守り、主要農作物の国内生産を飛躍的に高めるために、私たちが進めなければならない課題を明らかにする集会と致します。是非ご参加下さい。

会場 コンセーレ (財団法人栃木県青年会館) 〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1番6号
電話028-624-1417 FAX028-624-1843 E-mail: concere@olive.ocn.ne.jp

日時 2月17日(土) 12:00~18日(日) 午後1:30

日程 第I部:主要農作物種子法廃止の真実と循環型有機農業による主要農作物増産の可能性



映画試写会「狂った蜂」12:30~13:20 (大ホール)

受付 13:00~13:30

13:30 開会あいさつ・来賓あいさつ

基調提案 イネ・麦・大豆・油脂作物の輪作による
循環型有機農業の拠点づくりと増産運動の提案
稲葉光國 (NPO法人民間稲作研究所理事長)

種子法廃止でF1種子と遺伝子組み換え種子が主流になり、アレルギー患者の激増や癌発症の増加が予想されるなか、その恐れを根底から解消する有機農産物をイネ・麦・大豆の輪作で増産する方策と可能性を提案します。

報告1 主要農作物種子法の廃止で食の未来は・そして生協はどう対処するか

山本伸司 (日本の種子を守る会 事務局長 元パルシステム理事長)

地産地消と身土不二の食の原則を守って事業展開を行ってきたパルシステムの元理事長として、TPPに対抗する食の自給圏構想を熱く語る



報告2 主要農作物種子法廃止の真実と対応 国際的動向から

(「種子」上映と講演)

印鑰智哉 (日本の種子を守る会アドバイザー)

主要農作物種子法がなぜ突然に廃止になったのか。その真実を国際的動向からいち早く見抜き、警鐘をならしている印鑰氏。近未来の食と農の荒廃を避けるために今何をすべきか、提言を頂きます。



ー全国各地の会員農家からのリレートークとパネルディスカッションー

15:30~17:30 コーデネータ 谷口吉光 秋田県立大学教授)

中道唯幸 (滋賀県 中道農園代表)・古谷慶一 (栃木県 古谷農産代表)

小島幸喜 (岩手県一ノ関有機農業推進協議会代表) 土井弘一 (北海道有機農業協同組合)・山本伸司・稲葉光國

(総合討論 有機農業による主要農作物の生産振興をめぐる)



18:30~21:00 有機食材を味わう夕食懇親会&ブータン有機支援活動報告会

第2日目(18日)

第Ⅱ部 主要農作物の有機加工食品の現状と発展の可能性

— 子供たち・そして生き物の未来のために—

基調提案 主要農作物種子法廃止がもたらすもの：

— 議員立法による食料主権法案の検討と署名活動について—

山田正彦(弁護士・元農水大臣)

TPPの批准に最後まで反対し、初心を貫き通している元農水大臣の山田正彦先生をお招きし、種子法廃止による農業と食の安全の破壊を食い止めるための議員立法による法案制定がどんな意味を持っているか。法律家の豊富な経験を活かして提案をして頂きます。



早稲田大学第一法学部卒業。司法試験合格後に、五島で「牧場」を経営。オイルショックの影響で牧場経営を挫折。その後、弁護士事務所を開業し中小企業の借金問題、サラ金問題に取り組み、暴力金融と徹底的に闘う。4度目の挑戦で衆議院議

地域生協の地産地消運動と主要農作物の有機農業による生産振興について

倉持まゆみ(よつ葉生協 理事長)

リレートークとパネルディスカッション (10:30~12:30)

— 主要農作物の生産振興と加工業界の現状及び発展の可能性 —

コーディネータ 田坂興亜・大木一俊

弓削田醤油(弓削田洋一) 大豆乃館(大谷洋二) 鎌田醤油(鎌田雅敬)

ベッカライ・プロトツァイト(菅原大輔) グリーンオイルプロジェクト(国弘雄二)

特別報告 学校給食100%有機米を実現した千葉県いすみ市：その先に目指すものは(いすみ市関係者)

総合討論 有機農産物の地域自給システムづくりと学校給食への提供の意義と可能性

昼食(中会議室) 12:30~14:00 (台北テレビ「狂った蜂 第2部」試写会)

公開シンポ参加申込書

参加ご希望の方は2月14日までに必ず fax して下さい。 fax 0285-53-1133

氏名 _____ 電話 _____

住所 〒 _____

参加するシンポの参加金額を○で囲みファックスして下さい。3日前からのキャンセルは全額料金支払となりますのでご注意ください。なお資料のみご希望の方は2000円で頒布します。

		17(土)			18(日)
		第Ⅰ部種子法廃止の真相と生産対策	試食・懇親会 ブータン報告会	宿泊	第Ⅱ部 種子法廃止対策と地産地消(加工&消費)
会員	全日程	16,000円			
	部分参加	3,000	5,000	5,000	3,000
非会員	全日程	17,000円			
	部分参加	4,000	5,000	5,000	3,000
17日の昼食(弁当)		1 希望する(1,000円) 2 希望しない			
18日の昼食(弁当)		1 希望する(1,000円) 2 希望しない			